
携帯口糧

S T A R ジョーカー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

携帯口糧

【Nコード】

N2004H

【作者名】

STAR ジョーカー

【あらすじ】

タイムマシンで食料を投下する？

タイムマシンが実用化されて久しいが

俺はあることを実行に移した

太平洋戦争下のニューギニア戦線へ食料を投下するという暴挙だ

飢えた日本軍の兵士のことがいとも気になっていたからだ

携帯口糧は軍用の戦闘糧食が手にはいらなかったので民間用をアレンジした

容器：長さ30センチ、直径10センチの銀色の円筒形

落下時に破損しないよう重厚に造ってある

内容物：天然水、牛缶（バイオ食肉）、缶めし（赤飯）、漬物（缶）、カップ麺（圧縮タイプ）、

ビタミン剤、マッチ、タバコ（無印健康タバコ）、等々

あまり変なものを詰めて、敵性かく乱と思われるてはいけけないので、なるべく当時の時代に合うよう

苦心した

輸送方法は、実物大模型に補強をほどこした一式陸上攻撃機だ

推進器は携帯用反重力コンバータを利用した

コックピットのタイムマシンを操作すると

まばゆい光の渦につつまれ、一瞬でニューギニアの上空だ

日本軍の敗残兵が潜んでいる地域の超低空で投下した

一回に運べるのは500個ほどだから、忙しい

夕闇のせまるジャングルのなかへ、銀色のがやきが吸い込まれていった

その後数十回飛行したが、敵機の追尾は未来の推進器のおかげで振り切った

地上の兵士の反応はよくわからないが、時折ジャングルの切れ目からボロボロの戦闘服を千切れんばかりに振り続ける日本兵の姿が見えた

「もう十分だろう」

俺は最後のフライトを決行した

いつまでも、このような違法行為を続けるわけにもいかない

そろそろ、タイムパトロールがかぎつけるころだ

いつものように投下すると、ジャングルの切れ目に

多数の日本兵が手を振っているのが見えた

「危ない！」

運悪く無数の携帯口糧が彼らの頭上を直撃したのだ

一瞬の出来事だったので、避けることもできなかった

おそらく何人かは即死だろう

次の瞬間、俺の体に異変が起こった、タイムマシンの異常でも、敵機の攻撃でもなかった

激しい痛みが走り、体が透けて消えていくのがわかった

うすれゆく意識のなかで理解した

「あの日本兵のなかに……。俺の先祖が……。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2004h/>

携帯口糧

2010年11月5日01時49分発行